



# 杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会  
2022年 3月 1日発行

3月号 向日市上植野町西小路3-4  
No. 132 杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう！

ホームページ : <http://sugi.pupu.jp/>

## JR向日町駅東口開設

2-3面 : 市議会情報

# 事業が本格スタート 疑問に説明を



**向日市議会議員 杉谷伸夫** 所属政党なし  
上植野町イトーピア在住。大阪市生まれ。京都大学工学部卒業。GSユアサ(旧日本電池)勤務を経て、2011年より向日市議会議員3期目。67才

JR向日町駅東口開設事業は、①橋上駅舎・自由通路事業はJRとの工事協定が結ばれ、②東口の市街地再開発事業(駅ビル・タワーマンション・駅前広場)は京都府の認可が行われ、いよいよスタートします。計画では5年後に東口開設、7年後にまち開きが予定されています。

長年の課題であるJR向日町駅の東口が開設されるわけですが、手放しで喜べません。事業費45億円のうち大半を向日市が負担をするのに、どんな駅舎・自由通路になるのか、基本図も示されていません。また東口の市街地再開発事業には数十億円の公費が投入されますが、駅ビルと批判の多いタワーマンションにその公益性があるのか疑問です。

事業の本格的なスタートにあたり、こうした市民の疑問に対して、議会の中でしっかりした説明を求めます。(2月28日・杉谷 伸夫)

## ロシアはウクライナ侵攻をただちにやめよ！

ロシアによるウクライナへの軍事侵略に断固抗議します。武力の行使・威嚇によって他国を従わせることは絶対許されません。世界中の人々とともに、その意思を私たちも示しましょう。

また軍事同盟間の勢力争いは、20世紀の遺物です。戦争放棄の日本国憲法の平和主義の理念＝武力でなく「諸国民の公正と信義」に基づく平和的な国際関係づくりを求め続けましょう。

### ★ロシア大使館に抗議の声を！

電話 : 03-3583-4224 FAX : 03-3505-0593  
E-mail : [tokyo@mid.ru](mailto:tokyo@mid.ru)

## 3月の催し等のご案内

- 3月7日(月) (15:30~17:30頃の見込み)  
向日市議会・杉谷議員の一般質問
- 3月12日(土) 10時・寺戸公民館  
「市民参加でまちをつくる会」
- 3月12日(土) 13:30 円山野外音楽堂  
バイバイ原発きょうと (今中哲治さん)  
講演「福島放射能汚染と福島原発の後始末」
- 3月16日(水) 10:00  
向日市議会・総務文教常任委員会  
予算審査、女性差別撤廃条約に関する請願審査
- 3月23日(水) 10:00 本会議・採決



### 連絡先

ご相談はまずお電話を！ TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-921-4101  
メール [peace@fa2.so-net.ne.jp](mailto:peace@fa2.so-net.ne.jp) ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>

# 向日市の新年度予算（案）

4月からの向日市の新年度予算が議会に提案され、審議後3月23日に採決です。

★予算書その他の議案は、向日市議会ホームページの「議案・議決結果」に掲載されています（右のQRコードから）。当初予算については「主要事業」と「参考資料」がわかりやすいと思います。その他の議案の説明は、「議案・議決結果」一覧の末尾にある「議案概要」をご覧ください。



## 注目の事業

### ● JR向日町東口開設事業（1面参照）

駅舎・自由通路の実設計が始まりますが、進め方と費用負担に疑問があります。

東口の駅ビル・タワマンは再開発事業組合の事業なので、向日市は支援をおこないます。

### ● 健康増進センターの改修（次頁参照）

空調設備・ボイラーの改修の他、施設全体の大規模改修を行います。早期再開が待たれます。

### ● 市民会館の整備

建物は秋完成予定。外構工事・舞台整備の後、来年2月グランド・オープン予定。会館の名称に「向日市」が無いことに疑問の声が出ています。



### ● 新型コロナ対策

5～11歳へのワクチン接種が3月末から始まりますが、努力義務ではありません。

一定条件の方へのPCR検査補助（自己負担1,500円）、無料抗原検査を予算化

### ● 古紙等集団回収助成金（7月頃実施）

古紙等の回収を実施する自治会・子ども会などに回収量に応じた助成金制度を開始。私が以前より求めていたものです。7月頃開始予定

### ● お買いもの応援クーポン

昨年末実施のお買い物応援クーポンを大幅拡大。前回：1世帯4,000円 ⇒ 今回：1人5,000円以下の改善を求めています。

利用できる店を増やし使いやすくすること  
住所・氏名の記入を求めないこと

### ● HPV感染症予防接種の積極勧奨を再開

HPV感染症は子宮頸がんの原因とされます。小6～高1までの女性への積極勧奨を再開するとともに、接種勧奨を行わなかった年代の希望者へも3年間の期間を設けて接種を実施

### ● 小中学校施設整備

老朽化した外壁の改修、トイレ改修・段差解消等のバリアフリー化、給食室のスペース増設を、市内各小中学校を順次整備してゆきます。

## ふるさと納税急増だが...

### 市の実入りは寄付額の半分

向日市は、新年度ふるさと納税（寄付）が急増し、約4億円になる見込みです。急増の要因は、ふるさと納税サイトの利用を増やしたこと、返礼品のOMRON製品が人気などのようです。

しかし寄付額の3割が返礼品に、2割がふるさと納税サイトの手数料等に消えてしまい、実際に向日市の収入増になるのは約半分。本来は住民税として市町村が自由に使えるはずの財源の半分が、返礼品と手数料になって失われているのです。「ふるさと納税」制度の本質的欠陥の1つです。

## ジェンダー平等実現求める請願



女性差別撤廃条約 選択議定書の批准を行うよう国への意見書提出を求める請願が、議会に提出されました。「選択議定書」は、国内で条約が守られない場合に、国際機関への個人通報制度を定めるもので、条約の実効性をもたせる重要な条約です。大多数の国が批准していますが日本は20年以上も放置したまま。この間に、世界では男女格差の是正が急速に進む一方、日本社会の男女格差は是正されず、今や世界156カ国中120位と最低レベルです。大阪では大多数の議会が意見書を採択するなど全国で意見書採択が進んでいます。

# 杉谷伸夫の

## 活 動 報 告

### 議会一般質問予定

★杉谷伸夫の一般質問は3月7日(月)15:30~17:30頃の見込み  
(Youtubeで生放映、および録画もその夜には視聴可能)  
以下の4つの課題を質問します。



### ゆめパレアむこうの今後について 検討の場に利用者・市民の参加を

健康増進センターは、設備・施設の改修を行ない、運営再開する方針ですが時期が不明です。利用者の見通しが立つよう、運営再開時期の見込みを示すことを求めます。

温水プールについては、1年間の休館中に今後の方針を決めるといいます。4月以降、市民アンケートを行う予定ですが、公共の市民プールならではの役割を生かし、「運営継続できる方策」を検討する目的に沿ったアンケートが必要です。また検討の場には、最大の当事者である利用者の参加を求めます。

### 要請署名約4千筆を市長・議長に提出

ゆめパレアむこうの利用者の皆さんを中心に①市民プールの存続と、②健康増進センターの早期運営再開を求める要請署名活動が行われていますが、2月21日に市議会議長に4038筆が、22日に向日市長に3790筆が提出されました。私も署名を呼びかけていました。ご協力ありがとうございました。

なお署名は3月末までとのことです。

### JR向日町駅開設・本格スタート 進め方と費用負担に疑問

(1面・2面参照)

### 向日市の地球温暖化対策

#### 気候非常事態宣言を行い 市民の取組への支援策を

地球温暖化対策は、2030年までに温室効果ガスの半減が求められており、従来の取組みの延長では不可能です。



向日市長は昨年、私の質問に答えて、気候非常事態宣言を行ない、危機感を市民と共有し、気候危機に対する具体的な行動を呼びかけてゆきたいと表明しました。その実行を求めます。

向日市に対して、以下の取組提案をします。

- 再生可能エネルギー比率の高い電気を供給する電気事業者からの電力調達を行うこと。
- 公共施設のLED化・屋上への太陽光パネル設置、建物の断熱化を率先して進めること
- 太陽光発電や住宅断熱など市民への思い切った支援策を実施すること。
- 取組みをチェックする市民参加の常設の機関を設置すること。

### 向日市個人情報保護条例の改正

#### 市民の個人情報保護のため 第三者も入って検討を！



昨年、国のデジタル改革のかけ声の下で、個人情報保護関連法の改悪が行われました。これは、自治体がもつ住民の膨大な個人情報を、企業が事業活動に利活用することを優先し、様々な保護規制を無くしていくものです。

この1年で、自治体が独自に運用している個人情報保護条例を国の法律に合わせて「改正」するよう求められています。例えば個人情報の本人からの収集原則や目的外利用・外部提供の禁止など様々な保護規制の撤廃があります。

国に無批判に従うのではなく、必要な独自規制は守るよう、第三者も入って検討を求めます。

# 日本語と文字を 書く文化の乱れ

安野 洋子

1990年前後、ドイツ東西の壁はなくなり、ソ連邦もロシア、ウクライナ、ベラルーシと小国で成り立つ国々が出現し、東西の対立が無くなったように思い、嬉しかった。私自身も、娘は結婚し、息子は就職して出て行ったので、海外旅行に浮かれはじめた頃だったので、バブルがはじけ、就職氷河期の時代が来た事も気にならなかった。

30年経ち、中国の台頭、アメリカとロシアの対立と、世の中はきな臭い中にコロナ風が吹き荒れ、日本でも2万人余りの人が亡くなった。家にいる機会が多く、テレビを見ていると、若者の言葉の単純なこと。「めっちゃ」という言葉の氾濫。肯定にも否定にも使われる。ひとつでなく形容詞はいろいろあるだろうにと思ってしまう。

朝日新聞で石川九楊さんの「日本語と文字を書

く文化の乱れが加速している」という文を目にした。九楊さんは京大の法学部を出て弁護士を目指していたのに、卒業後書家の道を選んだ人だ。私の友人が九楊さんに書道を習っていたので、私は何遍も書道展でその書を観たし、講演も聞いたことがある。九楊さんはワープロ、パソコンの発達で、文字を書かなくなったことと密接な関係があると指摘している。中国や日本などの東アジアの世界での縦書きという行為も、文化の一つであるという。文字は点画を連ねて書いていくから文字になる。活字は文字ではないということだ。考えるべきことがたくさんあるように思った。

縦書きの最たるものに歌壇、俳壇がある。朝日歌壇で二人の選者が選んでいたのに「ウイルスが地位協定に守られて堂々と入る基地からまちへ」というのがあった。私も深く同感する。広島、山口、沖縄と、基地のあるまちから集団発生したオミクロンの現実を見た時、どうしてこの事実を根拠にして、強くアメリカに地位協定撤廃を主張できないのか。これではアメリカの旗の星の1つに成り下がったのかと思ってしまう。日本の平和憲法を忘れないで。絶対に戦争しない国であることが、文字で書き留められていることを。

(2月19日)

## シリーズ 気候非常事態⑫

# 市民支援策求める声

## 市環境基本計画審議会

向日市の10年間の環境基本計画づくりが進められています。2月17日に開かれた第3回環境計画審議会を傍聴しました。

計画案では、地球温暖化対策を計画のトップに掲げ、10年後に温室効果ガスの46%削減を目標としています。しかし、そのために提案された「むこうし20%削減運動」案には、市民委員、専門家委員から異論が出されました。

市民委員からは、削減のために市民が実行可能な具体的な方策を示さずに20%削減を呼びかけることは、市民にガマンを強いるだけであり、市民の積極的協力は得られないのではないかとの指摘。専門委員からは、求められる目標は市民がコツコツ努力するだけではとうてい不可能な水準で



あり、社会の仕組みを変える取組みが求められていることなど指摘されました。

向日市の施策として、太陽光発電+蓄電池導入や住宅断熱など、市民の取り組みへの積極的な支援策を打ち出すことが絶対必要だと思えます。

## 計画推進へ3つのプロジェクト

環境基本計画推進のため、市から以下の3つのプロジェクトが提案されました。

- ①むこう脱炭素化プロジェクト
- ②むこう3R推進プロジェクト
- ③むこう協働プロジェクト

具体的な内容はこれからですが、計画を推進していく体制の提案は歓迎します。その中に、市民・事業者・行政の協働による「エコ・パートナーシップ会議」の設置があります。ぜひ多くの市民が関わって進めてゆければと期待します。